

人権擁護委員活動で感謝状

昨年12月末をもって人権擁護委員を退任された前原弘臣さん（小野）に、法務大臣感謝状が広島法務局福山支局総務課長より贈呈されました。人権擁護委員は、法務大臣からの委嘱業務であり、日常生活の中で人権尊重思想の普及や高揚に努めることを使命としています。前原さんは平成12年に人権擁護委員の委嘱を受け昨年12月末までの、4期12年間の永きにわたり、人権相談や人権啓発活動に取り組み大変尽力いただきました。



全国中学生人権作文コンテストで感謝状

1月11日、豊松中学校の全校朝会で、第32回全国中学生人権作文コンテストの感謝状が人権擁護委員の中間さん、赤木さんにより寶田校長へ贈呈されました。この感謝状は、5年間連続で人権作文コンテストに応募した学校の取り組みが評価され、法務省人権擁護局長および全国人権擁護委員連合会長から贈られました。平成19年に続き、この度が2回目の受領となりました。日常生活の中で得た体験に基づく作文を書くことを通じて、人権尊重の大切さや基本的人権の理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けることを目的として、昭和56年度から実施されています。



東北支援、ミツバチ贈呈が受賞！

油木高等学校産業界ビジネス科の「ミツバチプロジェクト」で東北支援としてミツバチを増殖させ、イチゴ農家へ贈呈した「笑顔広げるミツバチ姫チーム」（3年生 大石あす香さん、河上さくらさん、横山晴美さんの3人）の活動が、「全国高校生 みんなDE笑顔プロジェクト」の被災地とのコラボレーション部門で、全国農業協同組合中央会会長賞（全国で7校）を受賞しました。1月26日には東京 有楽町駅前で開催された、被災地と高校生との強い絆から生まれた、新しい東北の味を広く一般の人々にも体験していただく「被災地応援 高校生マルシェ」で、贈呈したミツバチによって育てられた仙台イチゴを販売しました。



平成24年度文部科学大臣優秀教員表彰を受賞

文部科学省が学校教育において教育実践などに顕著な成果を挙げられた方を優秀教員として表彰する、平成24年度文部科学大臣優秀教員表彰を、豊松小学校教諭の松葉信恵さんと、油木高等学校教諭の速見修史さんが受賞され、1月28日に東京で開催された表彰式に出席されました。この賞を町内で2人の方が受賞されることは名誉であり、学校教育の向上に一層期待がかかります。2人は「賞の名に恥じないように、しっかりと実践を積んでいかなければならない」と話されました。



松葉信恵さん



速見修史さん

神石高原町キャッチフレーズが決定しました！

「見る！触れる！食べる！ 五感がめざめる 神石高原」

町では、広島県の「過疎地域の未来創造支援事業」により、定住や観光、産業振興の促進を図り町を広くPRするキャッチフレーズを決定するため、キャッチフレーズ国民投票を実施いたしました。

多数の投票をいただき、「見る！触れる！食べる！五感がめざめる 神石高原」を最優秀作品に決定しました。

今後、このキャッチフレーズを活用して、ポスターやパンフレット、ホームページ、各種イベントなどで「神石高原町」をPRしていきます。みなさん、多数のご応募ありがとうございました。

町立病院からのお知らせ

「尿のトラブルについて」

町立病院健康学習会「まめくらぶ」



1月30日、まめくらぶが開催されました。内容は矢鍋薬剤科長による「尿のトラブル」についてです。

蓄尿と排尿のしくみ・泌尿器疾患の男女差や検査・治療の内容とあわせて、使われる薬の説明がありました。

「尿のトラブル」は、気軽に外出できない・物事に集中できないなど日常生活の支障になります。また、原因は歳のせいではないこともあります。恥ずかしいからと相談や受診をされない方も多いようですが、薬や日常生活の中の訓練で改善される場合もありますので、適切な治療・アドバイスを受けましょう。

食育ミニ知識 1月24日～30日は『全国学校給食週間』でした!! 毎月19日は食育の日

日本最初の学校給食は、明治22年山形県ではじまりました。

町内では、昭和7・8年頃から保護者が順番に学校の炊事場に持ち寄った野菜でみそ汁を作って食べさせていました。やがて戦争がはじまり、全国的に学校給食が出来なくなってしまいましたが、戦後の食糧難の中「子どもたちに栄養バランスのとれた食事を」という願いから、昭和22年に世界各国からの援助でミルク給食がはじまり、町内でも少しずつ完全給食を出せるようになり、現在に至っています。

三和中学校では、「学校給食の目標」について栄養職員から話を聞き、給食の大切さを学びました。



神石高原町食育推進ネットワーク協議会 食農教育部会